

お御嶽さんお宮めぐり

# 北野社

流見世棚造  
瓦棒銅板葺

ご祭神 菅原道真神

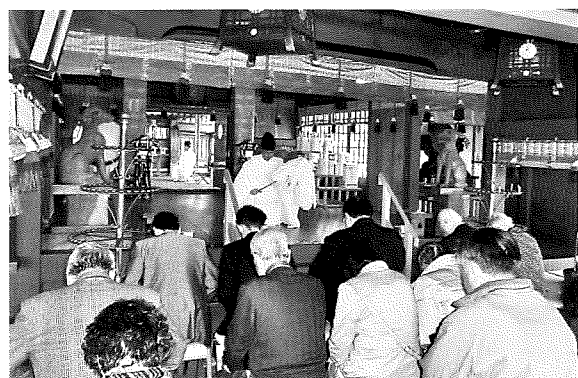
能力開発  
合格  
学業、芸術上達  
知識開拓



天神様と親しまれ、学問向上を願う人々の信仰をあつめております。書・筆・文具などを奉納し、向上を願う方もおります。昔は多くの子どもたちが筆を持って来ては、学業成就を願って参拝していました。

## 奉納俳句授賞式

残雪がまぶしい中の春分の日、奉納俳句の授賞式が執り行われました。金子千侍先生をはじめ、大勢の受賞者の方々がご来社下さり、盛大な祭典を執行する事が出来ました。数々の俳句は御岳山を題材として詠まれ、目を閉じると、その情景が浮かぶような素晴らしいものばかりでした。御岳山では四季を通じて、皆様の俳句を募集しております。大勢の方の投句をお待ちしております。



## 日の出祭

山伏の入峰儀式が発祥とされ、当社に於いて最も格式が高い祭とされ、日の出祭に御参加・御参列されますと、みたけ様の御稜威をいただき、一年の無病息災・家内安全をお守りいただけることとされております。このお祭りでは、お供として行列に供奉される方や神輿を警護する鎧武者・健やかな成長を祈念する稚児を募集しておりますのでぜひ御参加ください。



五月七日 宵宮 午後八時

夕闇・御霊代は絹垣に護られながら、陰燈のやわらかな光に包まれ幻想的な行列を粛々と進めます。

五月八日 本祭・行列出発 午前十時

御岳平（ケーブルカー駅前広場）より神輿を中心とした行列が御師集落を抜け、神の力を戴き三百段の石段を登ります。

徳川綱吉公奉納の本神輿（レプリカ） 渡御

供奉料 三千元・五千元・一万円以上

鎧武者・稚児 供奉無料 鎧の持参可能。

詳しくはお問い合わせ下さい。

## 第四十一回武蔵御嶽神社奉納俳句入選作品

応募総数 六一四句

選者 金子千侍

### 特選

一席 かんたんは御岳の山の音色かな 青梅市 馬場 克巳  
二席 神領の寂深まりぬ冬桜 羽村市 杉原功一郎  
三席 御師宅の屋根草に来て夏の蝶 中野区 辰巳 行雄  
四席 終ケーブル発ちてホームは虫しぐれ 青梅市 原島 康典  
五席 神職もジーパーンに替え雪を刷く 多摩市 萩生田 芳孝

### 秀逸

御師の宿下界と別の秋景色 千葉市 秋葉 裕子  
千年を見下ろす櫻若葉かな 所沢市 遠藤タカ子  
風鈴の百の音降らす山の駅 多摩市 橋本 絢  
ヤッホーの突き抜けてきし夏がすみ 日の出町 渡邊 敏雄  
みたけよりみおろす沢のお盆かな 大田区 西村 清  
冬空の星々に抱かれこも東京？ 津 市 伊藤 典代  
むささびの安住の地神おわす 府中市 小林 敏之  
杉の秀と同じ高さの置炬燵 狭山市 古谷多賀子  
半分を丸刈りにされ山笑う 杉並区 木村 聖哉  
星飛ぶやパイオリンの音御嶽山 相模原市 関 迪子

### 佳作

神殿に続く石段 春の蟻 さいたま市 土肥 寛子  
空晴れてレタスのような少女かな 松戸市 林 民江  
大げやきより山門までの小さな秋 新宿区 中村 晃也  
神木に添ふ紙しでや昼霞 練馬区 津村 京子  
鐘の音もゆったり遠し木の芽どき あきる野市 岩谷 天津子  
杉抜けて昇り来る霧御師の宿 狭山市 古谷 彰宏  
稲刈るや四方の風聴く道祖神 多摩市 立川 明朗  
眼下なる関八州に春霞 世田谷区 小森 葆子  
初詣山やま渡る法螺こだま 世田谷区 平井 あい子  
噓してお犬様ら驚かず 所沢市 遠藤 康雄  
選者吟 掌に乗る天辺の棚田刈る

## 奉納俳句選評

### 特選一席

かんたんは御岳の山の音色かな 馬場 克巳

秋の御岳山。夜の闇に包まれた御師のお宿の庭は、「かんたん」の鳴き声に満ちております。美しく閑かな、高音の抒情。只々酔うばかりです。那郡の高音を御岳のお山の「音」と詠まれた作者。正に「言い得て妙」。素晴らしい一句です。

### 特選二席

神領の寂深まりぬ冬桜 杉原 功一郎

冬岳のお社。総ての音を寄せつけぬ静寂にあります。そのお庭に厳寒に耐え、併し生々と咲いている冬桜。じっと見詰める作者の心情風景に、冬桜が神域の開けさを一手に引き寄せ、静けさを一段と募らせているのであります。

### 特選三席

御師宅の屋根草に来て夏の蝶 辰巳 行雄

御師宅の堂々とした家構えには、古い歴史と威厳を感じます。二尺余の茅葺きのお屋根に山の土埃や落葉などが積って、栄養の高い土壌が出来ているのです。今、その屋根畑に夏草が美しい花を咲かせ、大きな揚羽蝶がやって来て、蜜をしきりに吸っています。作者の瞳は、もう驚きと喜びで一杯でした。

### 特選四席

終ケーブル発ちてホームは虫しぐれ 原島 康典

秋の夜の御岳山。御師のお庭など、何処へ行っても虫時雨です。併し御岳山ケーブル駅のホームは沢山の昇降客の喧騒と靴音などで人の世界です。さて今最終のケーブルが発ちて、待ちに待った虫の世界がやって来たのでした。ちろ虫、馬追虫、響虫、そして那郡と、もう大変な鳴き合戦です。

### 特選五席

神職もジーパーンに替え雪を刷く 萩生田 芳孝

服装に依って人の姿は全く変わってしまします。神に仕える人の神神しい清楚な着衣。泥塗れになってもよい様な作業衣のジーパーン姿。両者似ても似つかぬもの。ふと見るとジーパーン姿で雪掻きをしているのは宮司様ではないか。あー驚いた。笏を雪掻きを持ち替えた大変身。微笑みの湧く一句です。

## 第四十二回 奉納俳句募集要項

- 一、作品は未発表に限る
- 一、受付は指定用紙にて投句箱へとする（郵送等直接の受付は致しません）
- 一、締切りは 平成二十七年一月十五日
- 一、発表は 平成二十七年三月中旬